

令和4年度 第2回豊山町地域包括支援センター運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年2月20日（月）午前10時30分～午前11時30分

2 開催場所 保健センター2階 研修室

3 委員

(1) 出席者 4名

名古屋大学	井上 愛子
愛知県清須保健所	堀江 孝太朗
あいち介護予防リーダー	堀場 光代
一般公募	浅井 恵子

(2) 欠席者 1名

豊山町民生委員協議会	岡島 清隆
------------	-------

4 事務局

(1) 出席者 4名

豊山町生活福祉部長	日比野 敏弥
豊山町生活福祉部保険課長	牛田 彰和
豊山町地域包括支援センターグループ長	千葉 幸恵
豊山町地域包括支援センター主任	水野 美里

5 議題

(1) 令和4年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について

(2) 令和5年度豊山町地域包括支援センター事業実施計画（案）について

(3) その他

6 議事内容（要点筆記）

【司会】

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。ただ今より令和4年度第2回豊山町地域包括支援センター運営協議会を開催させていただきます。

私は、本日の司会を務めます地域包括支援センターの水野です。よろしくお願ひいたします。

なお、本日、岡島委員より、所用のため欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

本日の資料につきましては、事前にお配りしました、資料1、資料1-1、資料1-2、資料2、本日配付しました「次第」、「名簿」となります。本日お持ちでない資料が

ございましたらお申し出ください。

それでは、会議に先立ちまして議事録の取り扱いについてご説明します。議事録につきましては、「議事録の作成に関する指針」により、発言者の個人名を伏せ、要点筆記にてホームページに掲載させていただきます。のちほど、会長から議事録署名委員2名の指名がございます。指名されました委員には後日、事務局から署名をいただき伺いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、会議次第に沿って始めさせていただきます。

はじめに、会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長】

(挨拶)

【司会】

ありがとうございます。当運営協議会の議長は会長に務めていただくことになりますので、以降の議事進行につきまして、よろしくお願ひいたします。

【会長】

最初に、議事録署名委員の指名ですが、本日の会議の署名委員につきましては、堀場委員と浅井委員を指名いたしますので、よろしくお願ひいたします。

続きまして、次第3の「議題（1）令和4年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について」に入ります。

事務局からの説明を求めます。

【事務局】

(資料1、資料1-1、資料1-2に基づき説明)

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明についてご質問・ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

【委員】

サロンに月2回関わっていますが、高齢化が進んでいると実感しています。行くたびに「どなたかが調子が悪い」、「連絡が取れない人がいるから地域包括支援センターに連絡した」という話を聞きます。一人暮らしの高齢者も多くいる地区なので心配しています。私は老人クラブ連合会にも関わっているのですが、来年度からは、老人クラブ加入者以外の方にもイベント等の情報を発信していくようにしたいと話しています。

【事務局】

確かに、高齢化が進んできており、「最近会えない、見かけない」という相談が増えていると実感しています。

【委員】

サロンに行けば交流があるので様子がわかります。最近は、サロンに参加する人が少しづつ増えてきており、場所が狭くなっていますが、参加者を増やしたいという話もあります。特に男性に声をかけていますが、なかなか広まらないのが現状です。

【事務局】

サロンで体操を教えてくれていると聞いていますので、交流する中で最近見かけないと

か困っている等の情報があれば地域包括支援センターまでお知らせください。

【委員】

他の市町の会議に参加したときも、サロンでの男性参加者が増えていかないという課題が出ていました。調べてみると全国的な話のようで、男性は働いてこられた方が多く、退職後の生活でいきなりサロンに出かけるのは腰が重いようです。男性のサロン参加のポイントとして話が出ていたのは、「スマホ教室」「料理教室」「そば打ち体験」などひとつ大きな目的があつて開催される地域の場であると行く傾向があるという話でした。ただそこに行って話をするだけというのは行きにくいと感じる方が多いということでした。

一人暮らし高齢者も他地域でも同じように大きな課題でした。豊山町は、高齢化率が21%と高齢者の割合が低い地域ですが、高齢化に伴い認定者が増えています。認定者の内訳をみると要介護4、要介護5と支援が必要な人が増えています。現状で要介護4、5の人に対する支援がある程度整つていれば問題ないと思いますが、今後は、予防的に介入している人たちの窓口を増やしていくことと要介護状態になった人への支援のマンパワーが成り立っていくのか注意してみていくことが必要であると感じました。

【委員】

支援者として介護予防教室で体操を教えています。要支援の軽い人までしか対応できておらず、認知症の人はフォローしきれていません。要介護の人は増えていますが、増えてくる中でどれだけやれるのか不安です。現状は介護予防のための教室しかできません。

【委員】

民生委員で、近所の高齢男性を集めて話をしながら楽しく過ごせるように活動されている方がいます。そういう方が他の地域にもいて、声をかけることで地域の場に出て来られるようになると良いと思いました。

【委員】

老人会でイベントを開催すると元気な人は来ますが、特に男性は出ません。今後は地域の公民会など、近場で歩いて来られるところで開催することも検討すると良いと思います。試行錯誤しながらですが、どこにも繋がりのない人、要支援までいかない程度の状態でこもっている人の支援が難しいと感じています。

【委員】

元気はつらつサロンの参加者も高齢化が進み、立って運動ができないと座ってやっている方や職員がついている方もいます。その参加者が動けなくなったりしたときにどうなるかと心配しています。

【事務局】

高齢になるに伴い、足腰が弱ってきたり、認知症の方も増えてきます。必要な人には介護保険サービスを利用していただきますが、介護保険サービスを利用するまでの間を少しでも長くすることが、地域で開催されている介護予防教室や地域包括支援センターが担つていかなければいけないところだと思っています。必要な方には必要なサービスを使えるように情報提供することや相談窓口として地域包括支援センターが機能して

いくようにしたいと思っています。今の地域包括支援センターの課題でもあります、65歳の方に介護予防としてつなぎ、段階を踏みながら必要なタイミングで必要なサービスにスムーズにつないでいけるようにしたいです。

【委員】

会えない人に対して「どうしていいかわからない」、「どう介入していいかわからない」という声を聞きます。

【事務局】

地域包括支援センターや民生委員に教えてほしいです。心配事があるときは情報をいただければ訪問します。

【委員】

近場の喫茶店が地域サロンのようになっており、良いことだと感じています。毎日来ている高齢男性もいます。男性には集まりやすい良い環境だと思います。

【委員】

喫茶店に集まっているのであれば、そこに地域サロンや制度や事業の情報発信をするといいと思います。行った先に、次に自分が何をアクションしたら良いかわかるよう、常に情報に触れるような環境づくりが必要です。

先日、名古屋市北区の福祉フェスティバルに参加してきました。男性をスマート教室・相談会などデジタル分野で活用していました。男性はデジタル分野が得意であったり、また地位のある仕事に就いていた方もおられ、教室や相談会をすることで社会に貢献できているという思いが持てます。ラインとかを使いながらコミュニケーションや情報をとることも必要になってきます。豊山町の中にも得意な人がいると思うので、そういう人を活用して、スマート教室を介護予防事業と合わせてやっていくと良いと思います。

男性は男性同士でサロンを作ってほしいというアンケート結果もあります。フレイル予防は75歳になってからやるのではなく、75歳から備えて65歳くらいから普及をしていくことが大事です。また、年代に合わせて提供するサービス、情報の提供の仕方を検討していくことが大事です。

【会長】

続きまして、次第3の「議題（2）令和5年度豊山町地域包括支援センター事業実施計画（案）について」に移ります。事務局からの説明を求めます。

【事務局】

（資料2に基づき説明）

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、委員の皆様よりご質問やご意見をお願いします。

【委員】

トランポリン教室のサポートに2回入りました。最高齢は74歳でした。当初2人心配な人がいましたが、参加されたみなさん変化、効果があったと講師より聞きました。

【事務局】

担当していた職員からもそのように聞いています。また、自主化することも決まった

と聞いています。

【委員】

男性は、目的を持てると良いという話がありましたが、農業をされている方はたくさんいるので、農業体験などやれるといいかもしれません。

【事務局】

先ほども話があったように、役割や目的が明確な方が男性は参加しやすいということは常々思っており、現在思案中です。

【委員】

健康長寿大学はいつも新しい方が参加されていますか？

【事務局】

はい。年度ごとに新しい方が参加していただけるようにしています。

【委員】

健康長寿大学の卒業生は、豊山町から介護予防インストラクターの称号を与えられ、卒業後は介護予防事業に積極的に参加していただき、ボランティアや自分の健康づくりに役立て、家族や友達に広めていくということを講義の中で意識付けしています。意欲のある方を事業に割り振ったり、サロンの立ち上げに参加したり、サロンで声かけをしたりできるようになることを目的にやっています。意欲のある方を集めて地域に出てもらうということを繰り返していくことが大事だと思っています。

【会長】

その他にご意見等はよろしいでしょうか。無いようですので、続きまして、次第3の「議題（3）「その他」について、事務局から何かござりますか。

【事務局】

令和4年度に予定しておりました「豊山町地域包括支援センター運営協議会」は今回で終了となります。委員の任期は令和4年7月1日からの2年間となっておりますので、次年度も引き続きご協力をお願ひいたします。

【会長】

本日予定しておりました議題につきましては、全て終了しました。委員の方々で、何かご意見がありましたらお聞きしますが、いかがでしょうか。

ないようでしたら、これをもちまして令和4年度第2回豊山町地域包括支援センター運営協議会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【司会】

会長ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間の審議をありがとうございました。

上記のとおり、令和5年2月20日（月）開催の地域包括支援センター運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員2人が署名する。

令和5年3月16日

会長 井上 愛子

署名委員 堀場 光代

署名委員 浅井 恵子